

令和4年度 特色ある教育活動

共に育てよう、共に育とう
～瞳輝き心動く体験活動を通して～

越前市国高幼稚園

本園は、越前市東部に広がる田園地帯や自然豊かな村国山の他、増加傾向にある新興住宅地の中に位置している。また、国道8号線に沿って商業施設が栄え、交通量も多い。

日頃から、3，4，5歳児の異年齢交流を行い、併設している小学校との交流も継続して行っている。

今年度も感染症対応をしながら、一人一人の子どもの学びの芽生えや心身の健やかな育ちを願って教育活動をすすめている。子ども達は、のびのびと自己発揮をしながら、仲間と共に豊かに育ちあっている。

● 身近な自然環境を生かして ●

園内外の空間を十分に活用すると共に、身近な自然環境を最大限に活かし、心も身体も健康でたくましく豊かな育ちあいを目指している。

また、近隣の公園や自然豊かな村国山での戸外活動を通して、子ども達同士の学び合いの機会を積み重ねている。

このような直接体験を通して、身近な自然環境への気づきや疑問などを積極的に話したり尋ねたりする姿が増え、環境学習会にもつないでいった。特に4・5歳児の子ども達は、共有体験を通して「村国山で見つけた草花の実は、どうして赤い色だったの？」との具体的な疑問を講師に尋ねたがった。「鳥が、気がつきやすいように。その実をたべた鳥が、また違う場所へと種を運んでくれるように。」との話に興味津々の様子であった。



なんであかいのかな

ととろのもりでも
あかいみをみつけたよ



● 体験学習を通して ●

身近な自然環境を生かした教育活動を継続しているが、自然環境では気を付けなければならないことも数多くある。

4・5歳児の体験学習では、八ッ杉森林学習センターの森のガイドより、森の中の危険について分かりやすく教えていただき、子ども達が



親しんでいる森での安全面についてあらためて学び合う機会となった。

また、梅雨時期ならではのモリアオガエルの卵の観察では、地元の田んぼで見つけたオタマジャクシと種類が異なることが分かり、日頃の園外活動からの直接体験とも、つながる機会となった。

豊かな体験活動を通して一人一人が心を動かし、仲間と共に素直に表出しながら育ちあっている。



● 小学生への憧れや就学への期待感 ●

小学校との併設園ならではの柔軟な対応をしながら、交流活動や日頃の触れあいを継続している。校内体育大会の予行を見学したり、自分たちのミニ発表会を低学年に観賞してもらったり、園児たちの協同的活動で触れあったりしている。

今年度も、感染状況が落ち着いていた時期に、園児たちが試行錯誤しながら準備をすすめていった手づくりの協同的活動『国高ランド』で恒例の交流を行った。

今年度の『国高ランド』は、直接体験を通して共有イメージとなっている“森”の雰囲気や園内が包み込まれた。3・4歳児クラスの「森のつくりっこ」「森のレストラン」、5歳児クラスの「トトロの森めいろ」「とぼしっこ遊び」では、園児と小学生たちが手づくり遊び空間を時間いっぱい満喫し合った。お互いの思いを確かめ合う会話やふれあいが自然と生まれていった。

小学生たちの自信に溢れた姿を目の当たりにしたり、優しく寄り添ってもらったりしている幼稚園児の目の輝きや表情からは、身近な小学生への深い信頼感が育まれていると感じる。



● 一年を振り返り ●

感染状況に応じて柔軟に対応しながら様々な体験活動や教育活動が継続できるように努め、最大限の実施をしている。そして、一人一人の子どもが、幼稚園生活の中で充実感を体感し、心身の健康や自然への好奇心や探求心・身近な人への信頼感が育まれている。

今後も、地元の自然環境や小学校との併設園である恵まれた環境を活かし続けていきたい。また、環境を通して、一人一人の子どもの学びの芽生えや学びに向かう力を発揮できるような教育活動を大切にしていきたい。